

## 編集後記

挾間史談会創立十周年の節目の時に第三号を上梓することができました。編集は皆さんの協力により大変スムーズに進みましたので苦労したことは何もありません。感謝申し上げます、ありがとうございます。ございました。

私は、佐藤末喜先輩から薦められて挾間史談会に入会して早や五年が経過、定例会の末席を頂いております。定例会では毎回数名の会員が研究成果を発表しますが、その内容には敬服します、若輩の身には教えられることばかりです。

今回の第三号は、最近の定例会で発表されたものの他、未発表の原稿も数本あり大変興味が尽きないものに仕上がっております。

内容は、時代・人物から民俗・風俗考証に至るまで多岐に亘っています。じっくりお読み下さい。

私は今回、「大將軍神社の祭り」を担当した縁で今年の一月十三日、初日の春季大祭にお邪魔しました。編集後記の紙面をお借りしてその様子を少し報告させていただきます。

\*\*\*\*\*

当日九時に到着すると既に神楽が舞っており、焼きイカや飴が売られ、ミカンやビワの果樹苗木も値札がついて並んでいる。社務所の脇では、由布市消防団が火災に備えて待機している。また、拝殿両側には伊勢神宮式年遷宮の幟も立っている。御札所では巫女が御札を売っている。寒いため境内ではドラム缶で火を焚いて暖をとっている人がある。主催者と参詣者が入り混じって談笑している姿が微笑ましい。報道関係者の姿もある。神楽を見ていたら甘酒が皆に

振舞われた、熱くて美味しい。しばらくしたら今日は成人式のためか振袖姿の若い女性も現れた。

十時前には本日上がる牛も三頭揃い、十時になって打ち上げ花火を合図に式典が始まった。主催者と神輿が拝殿左側の席に、由布市長ほか来賓が右側に座る。正面奥には神殿の御簾が見え、その奥に御扉があると思われる。総代の司会で神事は進行する。

### 神事式次第

- 一、修祓の儀
- 二、宮司一拝
- 三、御扉開扉(十七神降臨)
- 四、献饌
- 五、祝詞奏上
- 六、玉串奉奠
- 七、撤饌
- 八、御扉閉扉
- 九、宮司一拝

以上で式典終了。直ぐに餅まきが始まる。拝殿の正面で主催者と来賓が参詣者に紅白の餅をまく。餅まきは午後にも一回ある。神楽は庄内神楽が終日舞う。祭りは三日間であるが市と神楽は一日限りである。参詣者は地元の人が多いようだが駐車場は満杯で係員が飛び回っている。以上を見届けて帰路に着いたが、空は曇っており明日は雪が降るらしい。

(編集子)